

令和6年度 第3回能登町復興推進委員会

日時 令和6年8月29日(木)

午後3時30分～

場所 能登町役場2階大集会場

次 第

1 開 会

2 挨拶

3 報 告

- (1) 人口動態等について
- (2) 第1回、第2回専門部会について

4 議 題

- (1) 能登町復興計画（中間案）について

5 その他

- (1) 今後の日程について

6 閉 会

【配布資料】

- ・ 席次表
- ・ 能登町復興推進委員会名簿
- ・ 第1回・第2回部会WSとりまとめ
- ・ 能登町復興計画（中間案）・・・・・・・・別冊
- ・ 推進委員会部会の開催案内について・・別紙
- ・ 生活再建に向けた支援ガイドブック・・別冊

第3回 能登町復興推進委員会 席次表

<p>ス テ ー ジ</p>	<p>○ 芳野敏之委員 ○ 森進之介委員 ○ 金七聖子委員 ○ 谷内江昭委員</p>	<p>○ 川崎時夫委員 ○ 坂上信彦委員 ○ 小坂智委員 ○ 坂口浩二委員 ○ 千間純二委員 ○ 重野さとみ委員 ○ 水元圭介委員長 ○ 玉地正幸委員 ○ 中田洋助委員 ○ 西出穰委員 ○ 高木功次郎委員 ○ 豊若裕治委員</p>	<p>○ 辻野実委員 ○ 蔽下哲也委員 ○ 鶴野薫子委員 ○ 池崎万穂委員 ○ 福池功委員 ○ 上野朋子委員</p>	<p>○ 農林水産課長 ○ 上下水道担当課長 ○ 建設水道課長 ○ 総務課長 ○ 復興推進課長 ○ 町長 ○ 副町長 ○ 教育長 ○ 教育委員会事務局長 ○ 企画財政課長 ○ 災害廃棄物対策室長 ○ ふるさと復興課長</p>	<p>事務局</p>	<p>○ 危機管理室長</p>
----------------------------	--	---	--	--	------------	-----------------

能登町復興推進委員会 委員名簿

(R6.5.1~R7.4.30)

委員区分	氏名	役職等	委員会 役職	備考
公共的団体等の役員又は関係諸団体の代表が推薦する者	坂上 信彦	能登町町会区長会連合会 会長	副委員長	
	川崎 時夫	能登町町会区長会連合会 副会長		
	小坂 智	能登町町会区長会連合会 副会長		
	坂口 浩二	能登町校長会 代表		
	千間 純二	能登北部医師会 会長		
	重野さとみ	能登町婦人団体協議会 会長		
	水元 圭介	能登町観光協会 副会長	委員長	
	玉地 正幸	能登町商工会 青年部長		代理：諸角事務局長
	中田 洋助	石川県漁業協同組合		
	西出 穰	能登農業協同組合		
	高木功次郎	能登森林組合		
	豊若 裕治	興能信用金庫 復興支援部主任調査役		代理：寺下調査役
町民	辻野 実	株式会社 SCARAMANGA 代表		
	藪下 哲也	株式会社 松寿 代表		
	鶴野 薫子	会社員		
	池崎 万穂	会社員		
	福池 功	北能産業 株式会社 代表		
	上野 朋子	会社員		
	芳野 欽之	芳野会計グループ 代表		
	森 進之介	能登町定住促進協議会 事務局次長		
	金七 聖子	松波酒造 株式会社 若女将		
学識経験を有する者	小野田 泰明	東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻教授		欠席
	谷内江 昭宏	金沢大学能登里山里海未来創造センター 里山里海創造WG座長		

1. 人口動態推移

		出生			死亡			転入			転出		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
令和5年	1月	3	1	4	25	33	58	4	9	13	28	7	35
	2月	5	2	7	12	12	24	8	4	12	15	7	22
	3月	1	4	5	23	26	49	39	31	70	60	47	107
	4月	1	1	2	12	19	31	42	17	59	22	17	39
	5月	3	2	5	20	11	31	15	10	25	10	10	20
	6月	0	1	1	9	15	24	10	8	18	9	13	22
	7月	1	1	2	14	9	23	12	12	24	11	15	26
	8月	1	1	2	17	14	31	7	12	19	12	12	24
	9月	2	1	3	17	20	37	8	5	13	10	13	23
	10月	2	2	4	12	15	27	11	7	18	10	15	25
	11月	0	0	0	15	12	27	7	7	14	11	10	21
	12月	2	3	5	10	19	29	4	8	12	14	11	25
		1～7月 計	14	12	26	115	125	240	130	91	221	155	116
	1～12月 計	21	19	40	186	205	391	167	130	297	212	177	389
令和6年	1月	3	1	4	25	25	50	2	2	4	35	46	81
	2月	1	1	2	24	38	62	7	3	10	36	46	82
	3月	0	4	4	15	20	35	15	17	32	67	89	156
	4月	1	0	1	12	23	35	22	18	40	33	38	71
	5月	1	0	1	17	22	39	18	18	36	20	18	38
	6月	0	2	2	10	18	28	8	6	14	15	18	33
	7月	1	4	5	10	7	17	6	11	17	22	22	44
		1～7月 計	7	12	19	113	153	266	78	75	153	228	277
	R6-R5 1～7月	-7	0	-7	-2	28	26	-52	-16	-68	73	161	234

2. 仮設団地入居者数

(8月23日現在)

団地名	戸数	入居戸数	残戸数	(8月23日現在)		残戸数
				二次募集 未入居者数	随時募集 未入居者数	
ふじなみ第1	123	107	16	1	6	20
しあけがおか	30	20	10	0		
うかわ	81	81	0	0	0	
みずほ	12	12	0	0	1	
やなぎだ第1	38	36	2	0	11	
やなぎだ第2	20	17	3			
かんまち	34	34	0			
いわいど	22	21	1	0		
まつなみ第1	76	76	0	0	11	
まつなみ第2	22	22	0			
おぎ第1	26	24	2	2	2	
おぎ第2	40	23	17			
しろまる	42	39	3	0		
その他	5	5	0			
合計	571	517	54	3	31	

3. 避難所避難者数(8月28日現在) 5人

4. 2次避難者数(8月23日現在) 14人

5. 地区別人口比較

	令和6年1月1日現在			令和6年8月1日現在			増減			減少率	
	男	女	計	男	女	計	男	女	計		
宇出津地区	1,717	1,999	3,716	1,669	1,919	3,588	-48	-80	-128	-3.4%	宇出津地区
高倉地区	470	521	991	451	494	945	-19	-27	-46	-4.6%	高倉地区
神野地区	202	205	407	201	200	401	-1	-5	-6	-1.5%	神野地区
三波地区	290	308	598	292	302	594	2	-6	-4	-0.7%	三波地区
鵜川地区	407	455	862	397	425	822	-10	-30	-40	-4.6%	鵜川地区
瑞穂地区	344	342	686	324	327	651	-20	-15	-35	-5.1%	瑞穂地区
柳田地区	613	665	1,278	591	639	1,230	-22	-26	-48	-3.8%	柳田地区
上町地区	418	443	861	400	430	830	-18	-13	-31	-3.6%	上町地区
小間生地区	163	177	340	160	169	329	-3	-8	-11	-3.2%	小間生地区
岩井戸地区	152	171	323	143	160	303	-9	-11	-20	-6.2%	岩井戸地区
松波地区	867	998	1,865	826	945	1,771	-41	-53	-94	-5.0%	松波地区
秋吉地区	125	134	259	125	134	259	0	0	0	0.0%	秋吉地区
不動寺地区	196	226	422	196	220	416	0	-6	-6	-1.4%	不動寺地区
白丸地区	274	294	568	261	282	543	-13	-12	-25	-4.4%	白丸地区
小木地区	1,001	1,010	2,011	943	957	1,900	-58	-53	-111	-5.5%	小木地区
総計	7,239	7,948	15,187	6,979	7,603	14,582	-260	-345	-605	-4.0%	総計



6. 年齢別人口比較

	令和6年1月1日現在			令和6年8月1日現在			増減			減少率	
	男	女	計	男	女	計	男	女	計		
0～4歳	135	142	277	107	125	232	-28	-17	-45	-16.2%	0～4歳
5～9歳	186	139	325	185	132	317	-1	-7	-8	-2.5%	5～9歳
10～14歳	187	212	399	175	204	379	-12	-8	-20	-5.0%	10～14歳
15～19歳	278	228	506	257	209	466	-21	-19	-40	-7.9%	15～19歳
20～24歳	262	186	448	245	169	414	-17	-17	-34	-7.6%	20～24歳
25～29歳	226	167	393	217	164	381	-9	-3	-12	-3.1%	25～29歳
30～34歳	239	199	438	218	178	396	-21	-21	-42	-9.6%	30～34歳
35～39歳	277	234	511	257	229	486	-20	-5	-25	-4.9%	35～39歳
40～44歳	344	298	642	344	271	615	0	-27	-27	-4.2%	40～44歳
45～49歳	439	371	810	424	358	782	-15	-13	-28	-3.5%	45～49歳
50～54歳	432	425	857	429	404	833	-3	-21	-24	-2.8%	50～54歳
55～59歳	448	433	881	414	419	833	-34	-14	-48	-5.4%	55～59歳
60～64歳	539	529	1,068	515	499	1,014	-24	-30	-54	-5.1%	60～64歳
65～69歳	739	721	1,460	701	692	1,393	-38	-29	-67	-4.6%	65～69歳
70～74歳	812	851	1,663	797	806	1,603	-15	-45	-60	-3.6%	70～74歳
75～79歳	730	868	1,598	739	858	1,597	9	-10	-1	-0.1%	75～79歳
80歳以上	966	1,945	2,911	955	1,886	2,841	-11	-59	-70	-2.4%	80歳以上
総計	7,239	7,948	15,187	7,042	7,668	14,582	-260	-345	-605	-4.0%	総計

第1回能登町復興推進委員会部会WSとりまとめ

項目	第1回産業・経済復興部会	第1回すまいと暮らしの再建・安全な地域づくり部会
日時	6/19(水)13:30~15:30	6/20(木)14:00~16:00
参加者 (グループ)	<p>【グループ1】</p> <ul style="list-style-type: none"> 水元 圭介(能登町観光協会 副会長) 西出 穰(能登農業協同組合) 豊若 裕治(興能信用金庫) 藪下 哲也(株式会社松寿 代表) 上野 朋子(会社員) 金七 聖子(松波酒造株式会社) <p>【グループ2】</p> <ul style="list-style-type: none"> 中田 洋介(石川県漁業協同組合) 高木 功次郎(能登農林組合) 辻野 実(株式会社SCARAMANGA 代表) 鶴野 薫子(会社員) 芳野 欽之(芳野会計グループ 代表) 	<p>【グループ1】</p> <ul style="list-style-type: none"> 小坂 智(能登町町会区長会連合会 副会長) 千間 純二(能登北部医師会 会長) 重野 さとみ(能登町婦人団体協議会 会長) 玉地 正幸(能登町商工会 青年部長) 森 進之介(能登町定住促進協議会 事務局次長) 肥田 浩(一般社団法人OPEN JAPAN 副代表) <p>【グループ2】</p> <ul style="list-style-type: none"> 坂上 信彦(能登町町会区長会連合会 会長) 川崎 時夫(能登町町会区長会連合会 副会長) 坂口 浩二(能登町校長会 代表) 池崎 万穂(会社員) 福池 功(北能産業株式会社 代表) 小野田 泰明(東北大学大学院 教授)
テーマ	<ul style="list-style-type: none"> SWOT(能登町の強み弱み・機会・脅威)から考える 発災後の対応を何もしなかったまちの未来を考える 10年後の作りたいまちの未来を考える 	

第1回能登町復興推進委員会部会WSとりまとめ

第1回産業・経済復興部会	第1回すまいと暮らしの再建・安全な地域づくり部会
<p>【グループ1】</p> <ul style="list-style-type: none"> 何もしなかった未来について、リソースが失われていき生活環境が悪化し、全産業が衰退する。町に生きる活力がなく、無力な状態になっていることが挙げられた。 10年後の作りたいまちの未来について、地域課題に具体的な対策ができ、目指すべき産業像などがあることが重要である。 <p>【グループ2】</p> <ul style="list-style-type: none"> 何もしなかった未来について、里山里海そのものや、それに育まれた生業が衰退し、生活インフラがなくなっていくことが挙げられた。 10年後の作りたいまちの未来について、食に軸を置いた観光を進めることが重要である。 	<p>【グループ1】</p> <ul style="list-style-type: none"> 何もしなかった未来について、人口減少、一次産業や里山里海の衰退、公共交通や観光の衰退、空き家の増加、教育活動の低下、無気力な静かなまち等が挙げられた。 10年後の作りたいまちの未来について、官民連携で進めていくことが重要である。 <p>【グループ2】</p> <ul style="list-style-type: none"> 何もしなかった未来について、人口減少、施設や自然の衰退、人の交流の衰退等により、能登の魅力がなくなる等が挙げられた。 10年後の作りたいまちの未来について、人口維持を最優先に考え、そのために復興計画に子供を対象とした柱を位置づけることが重要である。
	

第1回能登町復興推進委員会部会WSとりまとめ

5つの柱	見出し	意見
(1)インフラの早期再生と強靱化	ライフラインが強靱化されている	<ul style="list-style-type: none"> 通信インフラの充実
	新たな公共交通の取り組みが始まっている	<ul style="list-style-type: none"> 自動運転のバスが運行(実証含め) 東京との交通活性化、航空便の増加
(2)くらしと地域コミュニティの再建	住宅の再建が進んでいる	<ul style="list-style-type: none"> 災害に強く、安心して住める家の整備 空き家の活用
	地域コミュニティが再建されている	<ul style="list-style-type: none"> 町内会等の地域コミュニティが維持されている 地域活動 地域コミュニティ同士のつながる場がある
	祭礼等の伝統文化の継承されている	<ul style="list-style-type: none"> 祭礼が継承できる環境となっている 神社・仏閣が再建されている

第1回能登町復興推進委員会部会WSとりまとめ

5つの柱	見出し	意見
(3)生業の再建	一次産業の先進地となっている	<ul style="list-style-type: none"> 後継者・担い手が育っている 様々な先進技術の活用や実証実験を誘致され、一次産業の先進地になっている
	里山里海の景観が維持されている	<ul style="list-style-type: none"> 能登の街並み(黒かわら)や、美しい景観(自然)が維持されている 里山里海の保全と、それを生かした暮らしが創出されていて、それを体験できる仕組みができています
	食文化を通じた観光が確立している	<ul style="list-style-type: none"> 地元食材や発酵食を含めた食が発信され観光地となっている
	目的地となる観光地となっている	<ul style="list-style-type: none"> 里山里海を体験できる観光が成り立っている イカキングを超えるインパクトある観光施設ができています 奥能登が一体となって、高級とリーズナブルの両方がある観光がある
	多様な働き方ができる	<ul style="list-style-type: none"> 多様な働き方ができる 地元住民や移住者が創業起業ができる環境となっている

第1回能登町復興推進委員会部会WSとりまとめ

5つの柱	分類	意見
(4) 安心して くらし続けられ るまちづくり	防災/減災に取り組 んでいる	<ul style="list-style-type: none"> 防災/減災に取り組み、災害に強いまちとなっている
	子育て世代の明る い未来がある	<ul style="list-style-type: none"> 復興計画への「子どもの柱」を追加 公園や病院があり、子育て世代が生活しやすい環境が揃うまち 豊かな自然のなかで子どもたちがたくましくのびのび育つ環境がある お金がかからない子育て、教育制度が実現している 地域づくりを子どもたちと一緒にできる環境がある 様々なスポーツができる まちづくりに関心を持つ若者が多くいる
	高校まで地元で学 べる	<ul style="list-style-type: none"> 能登高校が存続し、全国から入学する能登高校になっている 農林漁業の担い手が育っている
	コンパクトシティ	<ul style="list-style-type: none"> コンパクトシティの推進（公民館単位での集約）
	高齢者が生きがい を持ち元気である	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者が生きがいを持って暮らせる 福祉サービスが持続している

第1回能登町復興推進委員会部会WSとりまとめ

5つの柱	分類	意見
(5)復興プロ ジェクトの創出	移住者が順番待ち するまちになって いる	<ul style="list-style-type: none"> 出身者がUターンしたくなる 移住するきっかけがつくられている 移住希望者がどんどん増えるまち
	関係人口/二地域居 住ができるまちに なっている	<ul style="list-style-type: none"> 支援ボランティアとの関係が継続している 関係人口となった人への特別町民制度がある 二地域居住できる場所がある
その他	町民意識が醸成さ れている	<ul style="list-style-type: none"> 失った自信を取り戻し、能登人として生きる・誇りを持つ 若い世代がもっと町に興味を持つ 自慢できるまち、夢と希望を持てるまち 住む人全員が生き生きしているまち、町民が楽しむまち
	官民が連携したま ちづくり	<ul style="list-style-type: none"> 官民が連携するきっかけがある(マッチングできる)

第1回能登町復興推進委員会部会WSとりまとめ

第1回産業・経済復興部会



第1回すまいと暮らしの再建・安全な地域づくり部会



第2回能登町復興推進委員会部会WSとりまとめ

項目	すまいと暮らしの再建・安全な地域づくり部会/産業・経済復興部会	
日時	7/25(木)13:30~15:30	
場所	コンセールのと 第1・2会議室	
参加者 (グループ)	<p>【グループ1】</p> <ul style="list-style-type: none"> 小坂 智 (能登町町会区長会連合会 副会長) 千間 純二 (能登北部医師会 会長) 重野 さとみ (能登町婦人団体協議会 会長) 玉地 正幸 (能登町商工会 青年部長) 森 進之介 (能登町定住促進協議会 事務局次長) 肥田 浩 (一般社団法人OPEN JAPAN 副代表) <p>【グループ2】</p> <ul style="list-style-type: none"> 坂上 信彦 (能登町町会区長会連合会 会長) 川崎 時夫 (能登町町会区長会連合会 副会長) 坂口 浩二 (能登町校長会 代表) 池崎 万穂 (会社員) 福池 功 (北能産業株式会社 代表) 谷内江 昭宏 (金沢大学) 	<p>【グループ3】</p> <ul style="list-style-type: none"> 水元 圭介 (能登町観光協会 副会長) 西出 穰 (能登農業協同組合) 豊若 裕治 (興能信用金庫) 薮下 哲也 (株式会社松寿 代表) 上野 朋子 (会社員) 金七 聖子 (松波酒造株式会社) 島田 由香 (株式会社YeeY 代表) <p>【グループ4】</p> <ul style="list-style-type: none"> 中田 洋介 (石川県漁業協同組合) 高木 功次郎 (能登農林組合) 辻野 実 (株式会社SCARAMANGA 代表) 鶴野 薫子 (会社員) 芳野 欽之 (芳野会計グループ 代表) 小野田 泰明 (東北大学大学院 教授)
テーマ	<ul style="list-style-type: none"> 前回部会で出した「つくりたいまちの未来」の足りないものを考える 「つくりたいまちの未来」の中から大切な項目/重要な項目を選ぶ→多く選ばれたものを選定 10年後に実現するために具体的に必要なもの(リソース)を考える 	

第2回能登町復興推進委員会部会WSとりまとめ

柱	分類	意見	具体的に必要なこと(リソース)
1	ライフライン	通信インフラの充実	<ul style="list-style-type: none"> NTTの光ケーブル、wi-fiスポットの充実等により圏外をなくす 中高生のSNSでの発信やオンライン回覧板による情報発信
	新たな公共交通	移動(飛行機、自動運転等)が必要	<ul style="list-style-type: none"> 飛行機はみんなで利用することで便数を増加。 自動運転に向けて、トヨタ・日産等の企業誘致や実証実験の場として活用、各法令の規制緩和 町内を周遊する公共交通により、飲んでも帰れるような仕組みづくり
2	住宅再建	災害に強く、安心して住める家の整備	<ul style="list-style-type: none"> 耐震化や住宅再建に関する補助金の充実、地盤対策等により安全な土地をつくる 大工、建築士等の育成
		空き家・空地の活用	<ul style="list-style-type: none"> 空き家・空地の所有者の把握のためのデータベース化(情報の集約) 移住・定住・チームの強化、CMや町民YouTuber等により移住希望者を全国から募集 復興公営住宅能登モデル、能登町モデルの構築
3	一次産業	様々な先進技術の活用や実証実験	<ul style="list-style-type: none"> 実験・研究組織の誘致 漁業の情報化、林業のドローン測量、船頭の技術の人工知能化
		後継者・担い手の育成	<ul style="list-style-type: none"> 体験してもらう機会を増やすため、継ぎたいと思ってもらえるようなイベントの実施 奥能登全体を大学キャンパスのように活用、産業には技術や初期投資が必要のため大人の学校の整備
	観光・食文化	体験観光 地元食材・発酵文化を含めた食の発信	<ul style="list-style-type: none"> 発酵の加工所整備、発酵食文化の歴史が学べる施設整備、シェフズキッチン(有名店のシェフが能登町の食材を使用して調理)等により、観光・加工・体験・感動(4K) 飲食店(誘致と地元立上げ)、オーベルジュ(旧ユース跡地他)で差別化 能登町から町外へ発信(FMのと、有線テレビ等) ボランティアツーリズムの実施

第2回能登町復興推進委員会部会WSとりまとめ

柱	分類	意見	具体的に必要なこと(リソース)
4	子育て世代の明るい未来	復興計画への「子どもの柱」を追加	<ul style="list-style-type: none"> • 子供食堂、自然が好きプレパーク、自然との遊び提供（イベント）、子供が作るサバイバルマップ • 少年自然の家を通年で利用できるように • 授業料・教材費・給食費の無償化、塾をリモートでできる補助制度 • 全国から入学する能登高校(寮の整備、専門科（漁業等）の設置、スポーツの指導者誘致等) • 高校生～復興インターンシップ、公認バイト、子どもと起業 • シニア×児童館×自然あそび（おいしい+楽しい）
5	関係人口	関係人口をなった人への特別町民制度出身者がUターンしたくなる	<ul style="list-style-type: none"> • 年数回の宿泊クーポンの配布、企業体験の実施 • 女性が活躍できる仕事や場所をつくる。 • 子供を育てやすい環境をつくる（公園、空港近辺での病院_小児科産婦人科等） • 働く場所の確保（能登町は食。作る、料理する）

第2回能登町復興推進委員会部会WSとりまとめ

